



国土交通省 中部地方整備局

直
ち
に

ただ 直ちに

直ちに　～直ちに被災現場に出動し支援～

名古屋から直ちに出動	2
津波を排除せよ	3
地域の目となれ耳となれ	4
みちを切り啓け	5
紀伊半島へも	6
海外へも	7

備える　～災害時の減災を目指して～

中部圏が一体となって	9
中部版くしの歯作戦	10
災害に強いまちづくり	11

守る　～安全・安心な暮らしを目指して～

豪雨から守る	13
土砂災害から守る	14
津波・高潮災害から守る	15

支える　～地域の暮らしを技術で支える～

ものづくり中部を支える	17
暮らしを支える	18
技術力で支える	19
情報で支える	20

直ちに
被災現場に出動し支援

ただ
ちに
に

平成23年3月11日、東日本大震災が発生。

発災直後に各整備局から緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）
を東北へ派遣。

紀伊半島や海外へも派遣。

名古屋から 直ちに出動

地震の発生後、直ちにTEC-FORCEが
中部地方整備局の防災ヘリコプターで現地へ出動



防災ヘリコプター「まんなか号」

東日本大震災では中部地方整備局も
直ちに現地へ急行し応急復旧に貢献



津波を排除せよ

中部地方整備局の排水ポンプ車11台を派遣
3／16から5／17まで緊急排水を実施



東日本大震災では中部地方整備局も
仙台空港の早期再開に貢献



中部地方整備局の照明車11台を派遣
3／16から5／17まで夜間の排水体制を確保

地域の目となれ 耳となれ

中部地方整備局の衛星通信車で寸断された
情報ネットワークを再構築



情報通信機材を提供し
中部地方整備局も自治体を支援



中部地方整備局から宮古市と大槌町に職員を派遣
自治体と各種機関との調整を実施

みちを切り啓け

地元建設業者等の協力のもと
瓦礫や被災車両を取り除き交通を確保



通行が可能となった道路

遮断されたみちを啓き資機材や救援物資の輸送に中部地方整備局も貢献



中部地方整備局から白龍を派遣し

4／23から5／20まで浮遊物の回収を実施。

紀伊半島へも

災害発生後即ちにTEC-FORCEが
中部地方整備局の防災ヘリコプターで現地へ出動



平成23年台風12号による被災地域の
早期復旧に中部地方整備局も貢献



中部地方整備局から被災地へ延べ599人を派遣
被害状況等の調査を行い早期復旧に貢献

海外へも



24時間体制の緊急排水で工業団地の機能回復に中部地方整備局も貢献



備 用 え る

災害時の減災を目指して

東日本大震災を踏まえ、中部圏の国、地方公共団体、
学識経験者、地元経済界が連携した巨大災害に対する取り組み
を検討・実施。

中部圏が 一体となって

「東海・東南海・南海地震対策中部圏戦略会議」開催



学識経験者、国の地方支分部局、地方公共団体、経済団体、ライフライン関係団体等 約100機関が参加

産・学・官が連携した防災・減災の
取り組みを検討・実施

70団体、約1,000名、災害対策車両150台、航空機15機、
船舶13隻が参加し、管内8箇所において防災訓練を実施



中部版

国土交通省 中部地方整備局
東海・東南海・南海地震対策中部圏戦略会議

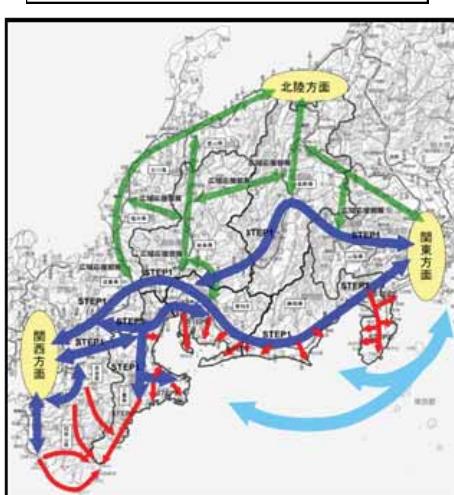
くしの歯作戦

H24.3.13 道路啓開訓練を実施

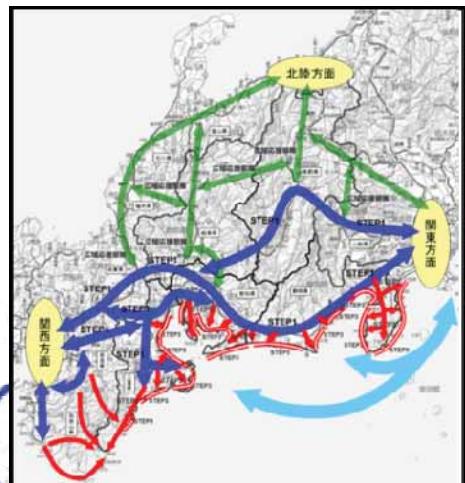
↔ 広域ネットワークラインを確保



↔ 沿岸部に繋がるラインを確保



↔ 沿岸沿いのラインを確保



早期復旧支援ルート確保手順を策定
災害復旧に必要な道路ネットワークの確立

災害に強い まちづくり

津波から命を守る避難施設の整備



自治体が整備する避難施設や
防災活動拠点の整備を支援



防災公園等の一次避難地や復旧活動の災害支援拠点の整備

守 る

安全・安心な暮らしを目指して

関係機関が被害の最小化のために様々な訓練を実施。

災害から国民を護り、安心して暮らせるよう関係機関との連携した取り組みや社会資本整備を実施。

豪雨から守る

水防団などが行う水防工法の他、大型重機を使用した訓練を行い豪雨に備える



関係機関との連携を密に
有事の際には即座に対応



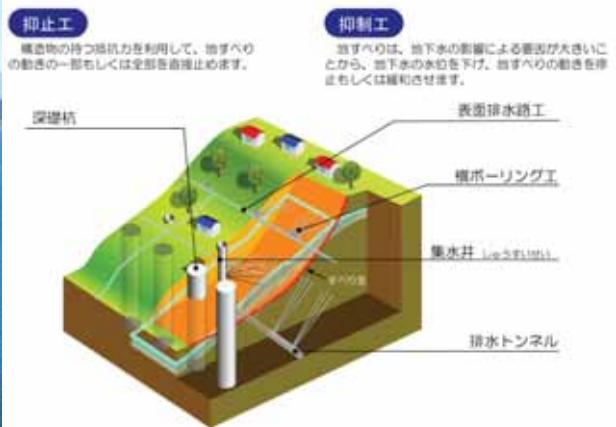
H23年台風12号により
庄内川の堤防から越水



堤防からの越水の際には早期に
応急復旧し被害の減少を図る

土砂災害 から守る

重要交通網が集中する箇所での
地すべり対策を実施



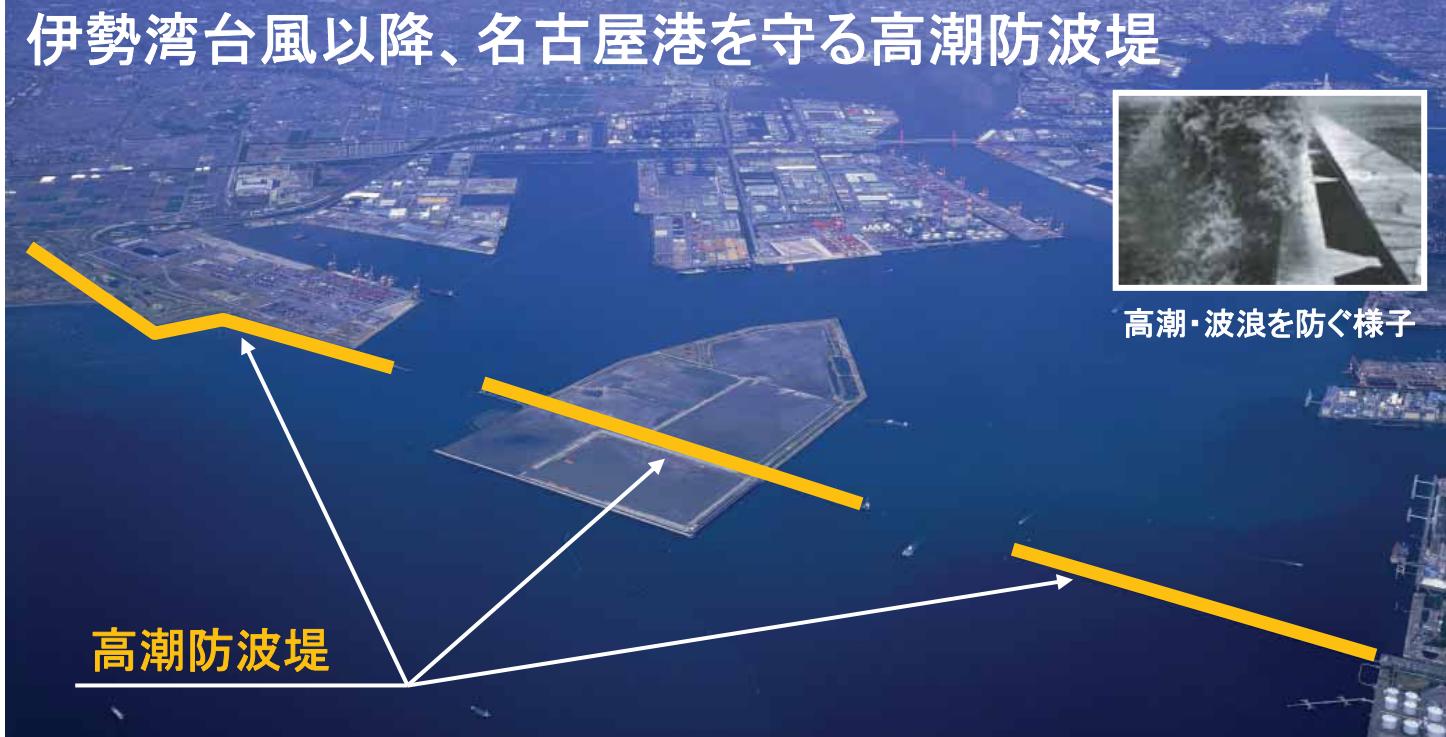
地すべりや土石流等の対策を図り
関係機関との連携の訓練



情報伝達訓練や机上想定訓練を行い土砂災害に備える

津波・高潮災害 から守る

伊勢湾台風以降、名古屋港を守る高潮防波堤



高潮・波浪を防ぐ様子

港と背後の市街地を護る防波堤
老朽化対策と大規模地震対策を実施



コンクリートの剥離やひび割れ

経年による機能低下の改善、東日本大震災に基づく
新たな知見を踏まえた対策を実施

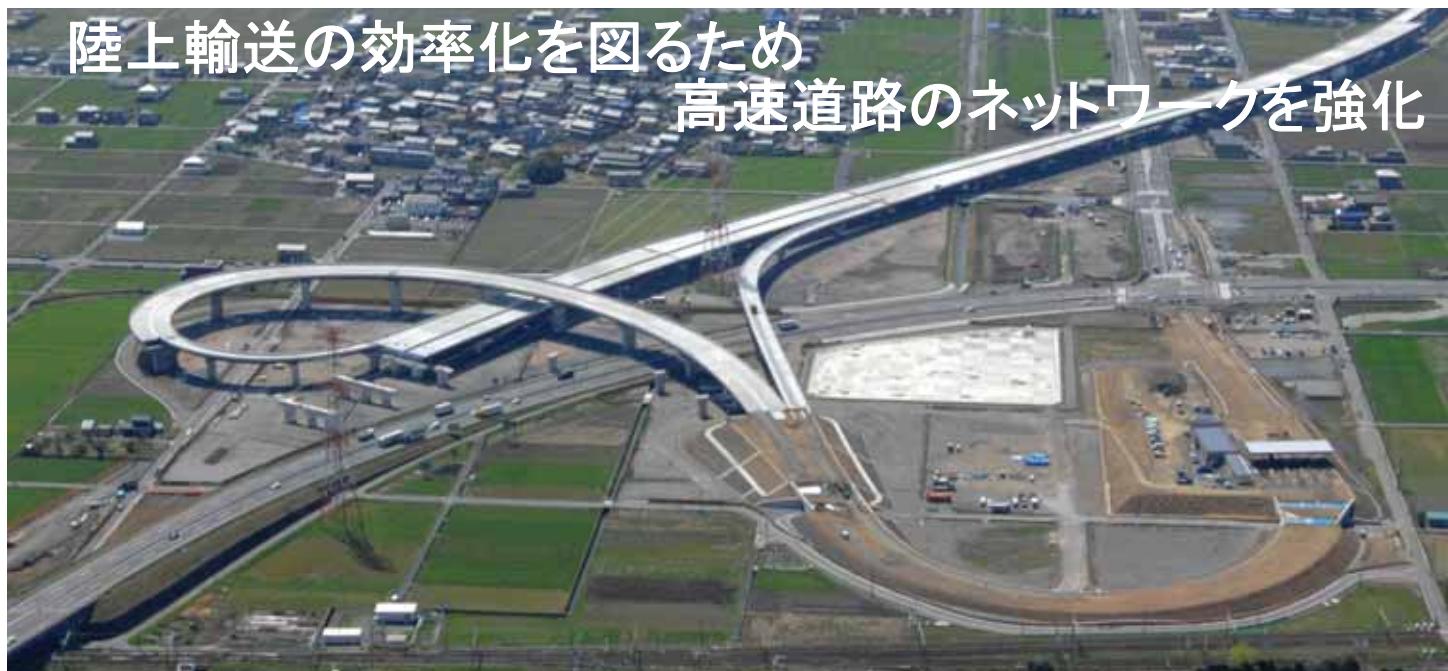
支
え
る

地域の暮らしを技術で支える

国民の生命・財産を守るために、有事の際には地方自治体へも
技術支援を実施。

国民の安定した暮らしを支えるために、社会基盤整備や施設の
維持管理を実施。

ものづくり中部 を支える



物流拠点の整備や物流の効率化で
地域経済を支える



暮らしを支える

異常箇所早期発見のための堤防除草や施設点検



日常の施設管理で
国民の暮らしを支える



除雪作業や橋梁の施設点検により道路を適切に管理

技術力で支える

橋梁損傷で生活道路が通行止め

専門家を派遣し復旧の技術支援



高度な技術力、災害対策用機械で
自治体を支える

排水ポンプ車で浄水場へ送水、
断水したまちを支援



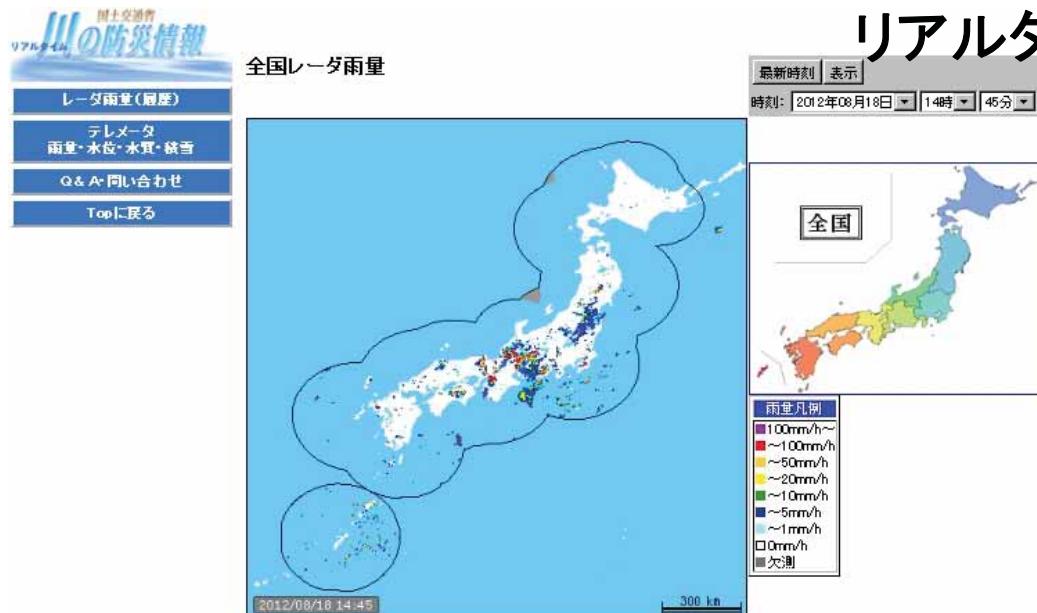
照明車で災害現場の夜間作業を支援



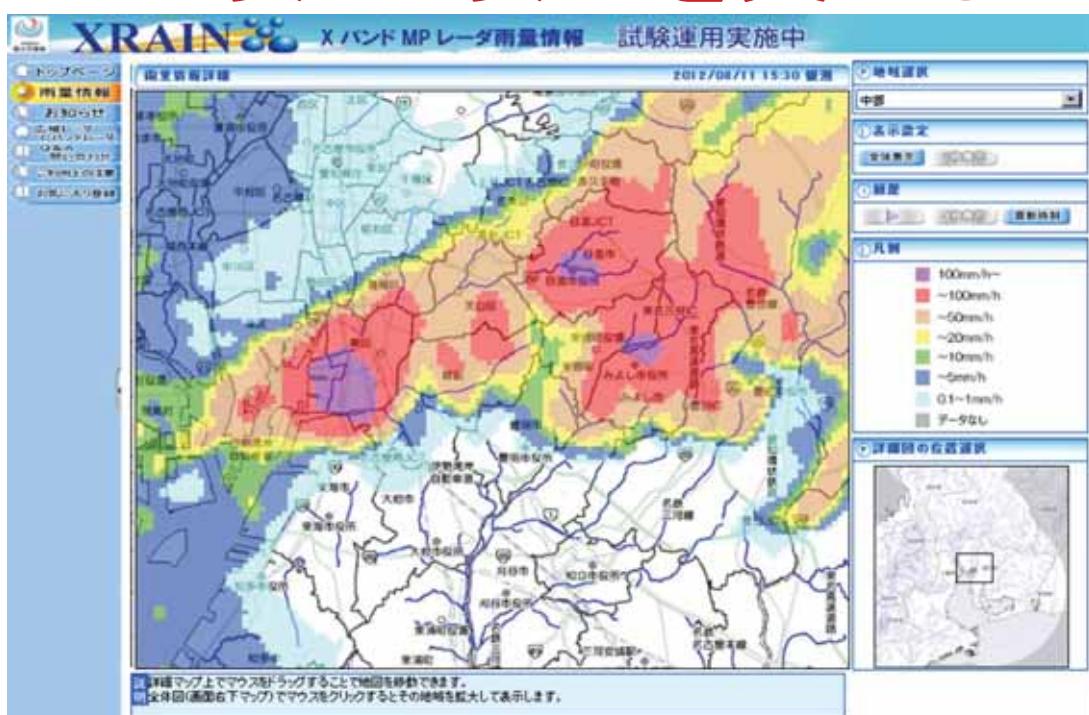
災害対策用機械を派遣し様々な災害現場を実施

情報で支える

迅速な避難行動に役立つ川の防災情報を



リアルタイムな情報提供で
安全・安心を支える



ゲリラ豪雨、局所的集中豪雨対策として活躍する
Xバンドレーダー雨量計の観測情報を配信

東日本大震災でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族の方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。



国土交通省中部地方整備局

〒460-8514 名古屋市中区三の丸二丁目5番1号
(名古屋合同庁舎第2号館内)

電話番号 052-953-8119 (代表)

<http://www.cbr.mlit.go.jp/>